

自分もみんなも 明るく うれしく よかったね

5月号

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html> No.237

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp 2019（令和元）年5月30日

学校行事を通して育つ力、日々の学習を通して育つ力



猛暑が続いた5月でした。大運動会には、知恵と総力を結集して万全の熱中症対策で臨みました。それでも、気温はどんどん上がり、一部種目カット等の対応をとらせていただきました。ご理解とご協力をありがとうございました。

気温33度を超えた中、閉会式は、急遽、応援テント内児童着席にて行いました。この変更で、私にとっては、結果として一ついいことがありました。それは、応援団長の最後の言葉をその表情が分かるほど一番近い所で聴くことができたことです。急遽の変更です。細かい打ち合わせをしている時間はありませんでした。セレモニーの場所を応援席の近くにすため、ポर्टボール台をグラウンドの真ん中に置いて号令台の代わりとしました。

成績発表、表彰の後、いよいよ、応援団長の言葉です。まずは、優勝した赤組応援団長。私は、このとき、「グラウンドの真ん中で、どっちを向いて話すのか、迷うかな？」と一瞬、心配しました。しかし、赤組応援団長は、迷うことなく、児童応援席の方を向き、優勝した喜びと今までの振り返りと共に頑張ってきた仲間へのお礼を堂々と述べました。そして、その後、くると向きを変え、今度は保護者・地域の応援席に向かって、家族へ、保護者・地域の方へのお礼の言葉を述べました。続いて、準優勝の白組応援団長の言葉。仲間へ自分の思いを伝えながら、途中、感極まって、彼は、一瞬、涙声になりました。彼の気持ちが伝わってきて、私も、一瞬、心にぐっとくるものがありました。応援席でじっと団長を見つめ、その言葉に耳を傾ける子どもたちの姿を見られたことも私にとって大きな喜びでした。

両団長とも、共にがんばってきた仲間どうしても伝えたい自分の言葉があったんだと思います。応援してくれた家族・保護者・地域の方々にもどうしても伝えたい自分の言葉があったんだと思います。運動会までの準備期間、そして当日、いいときもうまくいかないときも先頭に立ってみんなをリードする団長の一所懸命な姿があったからこそ、チームの仲間も団長の最後の言葉をしっかり聴きたかったのだと思います。特に後半は、大きく点差が開く展開でした。しかし、そんな中、全員リレーで順位が決まった後でも、最後まで全力でゴールを駆け抜ける団長の姿がありました。団長のそのひたむきな姿をチームの仲間はしっかり見ていたと思います。

運動会という学校行事を通して、一人一人がしっかりと力をつけてきたことを実感しています。そして、仲間としてのつながりを深め、集団としての力も高めてきたことを実感しています。

学校行事を通して育つ力。そして、私が今回の閉会式でもう一つ実感できたのは、日々の学習を通して育つ力です。「相手意識をもって話す」「自分の思いを自分の言葉で伝える」「相手を大切にして、話をしっかり聞く」……。日々の学習を通して育ててきた力が、閉会式での子どもたちの姿として見る事ができた私は、嬉しく思っています。子どもたちが決めたスローガンどおり、「赤白共に 笑顔で終わる」ことができた大運動会でした。子どもたちへの応援・支援、たいへんありがとうございました。これからも当校の子どもたちをよろしく願います。

校長 加藤 晃